

平成 29 年度 道徳教育啓発リーフレット

一人一人の子供たちに豊かな道徳性を育む 道徳教育の充実を目指して

「特別の教科 道徳（道徳科）」は、小学校及び特別支援学校小学部においては平成 30 年度から、中学校及び特別支援学校中学部においては平成 31 年度から全面実施となります。子供たちにとって、道徳的諸価値についての理解をもとに、自分を見つめ、自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深める学びの積み重ねが一層重要となります。本県においては、東日本大震災からの復興・発展を担う存在として、どのような時代、環境にあってもたくましく立ち向かい、岩手や社会全体をよりよい方向に変えていこうとする子供たちの前向きな姿勢や力強い気持ちを培い、深く広い豊かな人間性を育む道徳科の授業が求められます。

本リーフレットは平成 29 年度道徳教育研究指定校である岩泉町立二升石小学校の貴重な研究実践を紹介しています。学校全体で推進する道徳教育とその要となる道徳科の授業構想について、各学校の取組の参考として御活用ください。

岩泉町立二升石小学校の研究実践

機能的な推進体制と教育活動全体を通じた道徳教育の実践（P.4）

「特別の教科道徳」の多様な指導方法の工夫と授業改善（P.2～3）

家庭や地域と連携した道徳教育の推進（P.3）

【岩泉町立二升石小学校 研究主題】

自己の生き方について考え、友達や他者と関わりあいながらよりよい生活を送ろうとする児童の育成 ～問題解決的な学習を取り入れた道徳科の工夫を通して～

道徳的価値や道徳的問題場面について自分事として考えたり、友達や他者と関わりながら多面的・多角的に考えたりして、自己を見つめ、これからの生き方についてより深く考えるために問題解決的な学習を取り入れた授業を構想しました。

① 道徳的な問題を自分事としてとらえるための問題場面の構成の工夫

1 実態把握のための事前アンケートの活用

ごみがたくさん落ちてある場所に住みたいと思いますか。	1 どう思う	2 どちらかといえばどう思う
	3 どちらかといえばどう思わない	(4) どう思わない
それはなぜですか。	ごみがたくさんあると、さっぱりして、気分が悪くなるから	
もしも、道路に自分が落ちてないごみが落ちていたら、あなたならどうしますか。(その理由も書いてください)	ゴミ箱にする ごみは、さっぱりした方がいいから、捨てるから	

5・6年 教材名「空き缶のゆくえ」(東京書籍)
C-(12) 規則の尊重

実生活の場面を想像させ、自分だったらどう行動すると思うか、把握するために活用する。

2 「自分事」として捉えるための発問の工夫

2年 教材名「おれたものさし」 A-(1) 善悪の判断、自立、自由と責任

【教材の場面について、自分の生活や経験と関わらせた発問】

もし、自分がのぼるくんだったらどうしますか。

【課題に迫るための主発問の設定】

何度も悪いことをした友達がいたら、どうしますか。

児童の反応例 ⇒悪いことをしたのだから、謝らなきゃだめだよ。はっきり伝える。⇒人のせいにするのはいけないことだよ。怖いけど勇気を出して言う。

3 道徳的問題場面の提示の工夫

児童の道徳的な諸価値に関わる実態についての事前アンケートを通じた把握から、各学年の内容項目と関わらせて課題を設定し、自分事として必要感のある(問題意識を醸成する)授業を構成する。

教材に応じて、場面を区切ったり、道徳的問題場面だけを取り上げたりする。また、挿絵や紙板書、半具体物、デジタル機器などを使用し、可視化させたり、役割演技を取り入れたりする。

4 自分の考えを整理できるワークシートの工夫

もし、じぶんが さるへいだったら、どんなことを思ったでしょう。	2年 教材名「さるへいと立てふだ」(東京書籍)
かき木は、おもしろいので、きんが、たけのこ、と、友達たちが、きんが、たけのこ、を、たべたから、しょうが、ない。	A-(2) 正直、誠実
きんがの、どうとくで、きんが、たけのこ、を、たべたから、しょうが、ない。	
いたずらは、やたら、いいこと、わるいこと、がある、んじゃないかな、と思いました。	
友だちの考えを聞いて、かんじたことは、なんですか。	
いたずらは、やたら、いいこと、わるいこと、がある、んじゃないかな、と思いました。	

2年 教材名「さるへいと立てふだ」(東京書籍)
A-(2) 正直、誠実

発問を精選してワークシートを構成し、特に考えさせたい道徳的価値に関わる自分の考えをまとめることができるようにする。

② 道徳的な問題について議論する場の工夫

1 自分の立場や考えの根拠を示す(可視化)

自分の考えや立場が友達にもわかるように心のバロメーターやネームプレートを使用して、考えを可視化する。その後、自分の生活や経験から出た考えを根拠にして、相手に自分の考えを伝える学習活動を行う。

2年 教材名「さるへいと立てふだ」(東京書籍)A-(2) 正直、誠実

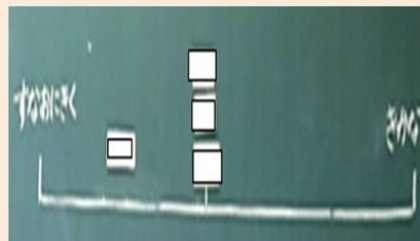
3・4年 教材名「ろばを売りに行く親子」(光村図書)A-(3) 節度、節制

【心のバロメーター】



言葉だけでは言い表せない心の奥の部分まで捉えることができる。

【ものさし】



自分がどの立場に近いのか、ネームプレートで示して考えを可視化できる。

2 よりよい考えや生き方を見つけるための交流

5・6年 教材名「心に通じた『どうぞ』のひとこと」(東京書籍) B-(7) 親切、思いやり

励ましのメールで誤解をさせた場面について、「みなさんは『言葉を使えば相手に伝わる』と言ったけれども、どうして伝わらなかったのだろう」という話し合いの目的を明らかにした多面的・多角的交流の場の設定を行った。

励まそうとしていても、言葉だけじゃ注意されているみたいじゃない?

これ、注意が多すぎるよね。確かに、パスをミスしたのは悪いけど・・・。励ましにはならないよね。



相手を少しほめてから、言いたいことを言えば伝わりそうだけどね。なんか一方的に注意されている感じがするよね。言葉だけじゃうまく伝わらないのかな。

直接話せば伝わったんじゃない? 表情ってけっこう大切だと思うんだけど。

ああ、表情って大事だね。言葉だけだと励ましていてもうまく伝わらないことがあるし。

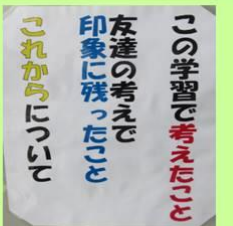
交流を通して、相手に伝わらなかった理由を深めることができたこと、授業後段で位置付けた心のノートの活用を通して、より身近な問題場面においてどうすればよいか、よりよい選択やふさわしい行動などについて、自分の考えを深めることにつながった。

③ 道徳的価値の理解のもとに、自己を見つめ、これからの生き方を考えることができるようにするための指導の工夫

1 ふりかえりの工夫

【ふりかえりの視点の明確化】

- ①今日の学習で考えたこと ←道徳的価値についての理解
- ②友達の考えで印象(心)に残ったこと ←多面的・多角的な見方
- ③これからについて ←自己を見つめる



【課題に立ち返らせたふりかえり例(2年)】

本時学習課題『なまかはずれ』について考えように対するふりかえりの内容 ⇒仲間はずれにされた人のことを考えて、みんながよい気持ちで遊ぶことが大事だと思う。

【ワークシートのファイル集録による学習状況の把握(指導改善へ生かす)】

アドバイスももらって役に立つこともあるし、たまたまない時もある。アドバイスを聞いて自分の考えと合わせてみる。

4年
アドバイスをされた時、自分なら悩まずにその通りにすると考えていた児童が、学習を通して自分で正しいのかどうか判断して行動しようという考えに変容した。

今までは、ただ大切だと思っていたけれど、この勉強をして、どうして大切か知ることができたので、これからは結果が悪くても、あきらめないようにしたいです。

5年
ふりかえりでは、児童が道徳的価値について自己評価できるように「心のものさし」を活用(学習前を赤、学習後を青で記入)することも有効であった。授業を終えて、児童が道徳的価値についての程度考えを深めているかを把握でき、次の指導改善に生かすのに役立つ。

2 事後アンケートによる児童の変容の見取り

2年 教材名「ともだちやもんな、ほくら」(東京書籍)B-(9) 友情、信頼

本当の友達とは、どんな友達だと思いますか。

事前 優しい友達。一緒に遊ぶと楽しい人。

事後 よいことも悪いことも言ってくれる人。楽しいだけでなく、いつも助けてくれる人

同じ質問項目でアンケートを事前・事後に実施し、道徳的価値について考えを記述することは、児童の見取りだけでなく、児童自身が学習前後の自分の考えの変容について自覚でき、有効であった。

連携体制

授業の見合い及び協議

教師個々の授業力向上に向け日頃から授業実践を見合い、上記の手立てを視点にして放課後に30分程度協議する。



地域・家庭等と連携した道徳教育の充実

年3回ある授業参観日のうち1回を道徳授業参観日として実施し、授業参観後の懇談会や個別面談などで児童の様子を家庭や地域に情報提供する。



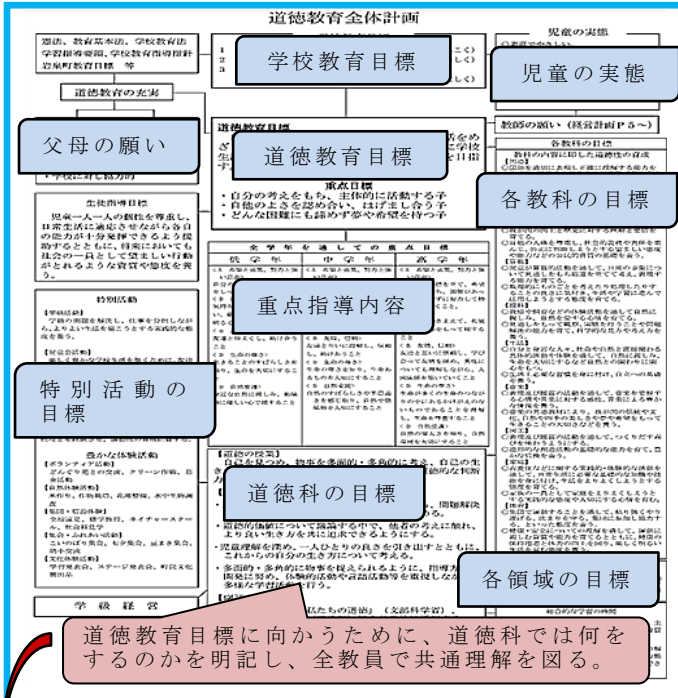
教材によっては家庭に協力をお願いしたりゲストティーチャーを活用したりして、道徳的諸価値の理解を図る。



学校教育全体を通しての道德教育の推進

学校の教育活動全体を通して道德性を養うねらいから、道德教育の目標を明確にして、全教職員が共通理解、共通実践できるようにするための指針となる道德教育全体計画を作成し、各教科、特別活動及び総合的な学習の時間と関連させた道德教育全体計画別葉や内容項目一覧の掲示をもとに全教職員で共通理解を図りながら道德教育を推進しています。

道德教育全体計画 共通理解のもと道德教育を推進



道德教育目標に向かうために、道德科では何を
するのかを明記し、全教職員で共通理解を図る。

内容項目 共通理解のもと道德教育を推進

キーワード	小学校第5学年及び第6学年(22)
A 主として自分自身に関すること	
善悪の判断, 自律, 自由と責任	(1) 自由を大切に, 自律的に判断し, 責任のある行動をすること。
正直, 誠実	(2) 誠実に, 明るい心で生活すること。
節度, 節制	(3) 安全に気を付けることや, 生活習慣の大切さについて理解し, 自分の生活を見直し, 節度を守り節制に心掛けること。
個性の伸長	(4) 自分の特徴を知って, 短所を改め長所を伸ばすこと。

内容項目一覧を職員室に掲示し、共通理解を図りながら、道德教育を推進する。

特別の教科 道德編 解説 P24～25を参照

道德教育全体計画別葉の作成

平成 29 年度 岩泉町立二升石小学校 道德教育全体計画別葉 第 5 学年 4～6 月

教科他/月	4月	5月	6月
道徳 ☆5年生 16	2「遠足の子どもたち」☆ A-1「善悪の判断, 自律, 自由と責任」	6「おばあちゃんが残したもの」☆ D-13「生命の尊さ」	
★6年生 17	4「オー・トラリアで学んだこと」☆ B-9「礼儀」	6「愛華さんからのメッセージ」★ D-20「自然愛護」	
副 2	1「心をつなぐ音色」★ A-6「希望と勇気, 努力と強い心」	7「重いすでの経験から」★ B-7「親切, 思いやり」	
計 35			
学校行事	1学期終業式 A-3) A-4) 身体計測 C-16) D-1) 交通安全教室 A-3) D-1)		
特別活動	学級目標や学級組織を作ろう (11) C-16) 元気にあいさつをしよう B-9) 安全に登下校しよう A-3) C-12) 児童総会 C-12) C-16)	時間を守って行動しよう A-3) 山王祭 C-17)	
外国語教育 B-9) C-18)	1「Hello!」◎	2「I'm happy!」◎ 3「How many?」◎	3「How many?」◎ 4「I like apples!」◎
総合的な学習	※総合的な学習の時間のねらいをふまえて、指導内容や時期を明記。		
教科	4月	5月	6月
国語	「数えて、あなたのこと」◎ 「ふるさと」「あめたま」◎ B-7) 「なまえつけてよ」◎ B-7) B-10) 「漢字の広場」◎ 「春の空」◎ C-17) D-20) 「新聞を読もう」◎ A-6) C-16)	「漢字の成り立ち」◎ 「見立てる」「生き物は円柱形」◎ A-6) D-20) 「漢字の広場」◎ 「古典の世界(一)」◎ C-17) 「まいて、まいて、まいてみよう」◎ A-4) A-6)	「敬語」◎ B-9) 「広がる、つながる、わたしたちの読書」◎ 「千年の鈴」「いむ」◎ A-5) B-8) D-21) C-14) C-17) 「漢字の広場」◎ ◎
社会 C-17)	1「わたしたちのくらしと国土」◎ 予備時間: ◎ 「オリエント」◎ 「18」◎ 「18」◎	1「わたしたちのくらしと国土」◎ ◎「自然条件と人々のくらし」◎ A-5) A-6) D-20) 「18」◎ 「18」◎	2「食料生産を支える人々」◎ 予備時間: ◎ 「オリエント」◎ ◎「来つりのさかんな地域」◎ A-5) A-6) C-14) C-18) D-20)
算数	1「整	1「整	5「小数のわり算」◎

教育活動全体を見通して、どの時期にどの道徳の授業を行えばよりよいか、事前に計画を立てる。(道德教育の充実)

道德教育全体計画をもとに別葉の作成を行う。作成した別葉をもとに、他教科とのつながりを意識し、学校の教育活動全体を通して道德教育に取り組めるようにする。

各教科と関連して指導できる内容項目を明記。